



主な内容

- 一般会計補正予算を可決 …… (2)
- 委員会の審査から …… (3)
- 10人が一般質問に登壇 …… (4)
- 私学助成の増額請願を採択 … (7)
- 意見書を提出 …… (7)

長寿を祝う敬老会

(9月15日・市民体育館)

一般会計補正予算を可決

心身障害者医療費助成など

九月定例会市議会は、十九日から十月二日まで会期十四日間が開かれました。この定例会では、各会計補正予算、条例の改正など市長提出議案十三件を慎重に審議の結果、監査委員の選任については不同意とし、そのほかはすべて原案可決、認定、同意しました。

また、議員提出の意見書二件を原案可決し、関係機関へ提出しました。

この定例会に、市長から提出された議案の内容は、次のとおりです。

補正予算

一般会計は一千万五千六百円を減額し、予算の総額を百三十四億四百四十八万八千円とするものです。

歳出の主な内容は、重度心身障害者医療費助成事業費八百八

万五千円、林業生産振興施設等整備事業費六百七十八万一千円などを増額し、職員人件費一千九百九十七万三千円、林業木材産業構造改革事業費二千七百二十七万七千円などを減額するものです。

国民健康保険特別会計は、一千二百四十七万八千円を増額し、予算の総額を二十二億八千五百七十七万四千円とするものです。

歳出の内容は、職員人件費五十九万四千円、老人保健拠出金四百四十八万九千円、療養給付費交付金精算返還金四百五十九千円、一般会計繰入金三百三十三万六千円を増額するものです。下水道事業特別会計は、四十

五万五千円を増額し、予算の総額を二十四億四千七百九十九万八千円とするものです。

介護保険特別会計は、五百十

一万一千円を増額し、予算の総額を十七億七千三百八十三万九千円とするものです。

歳出の内容は、職員人件費五

万二千円、介護給付費負担金

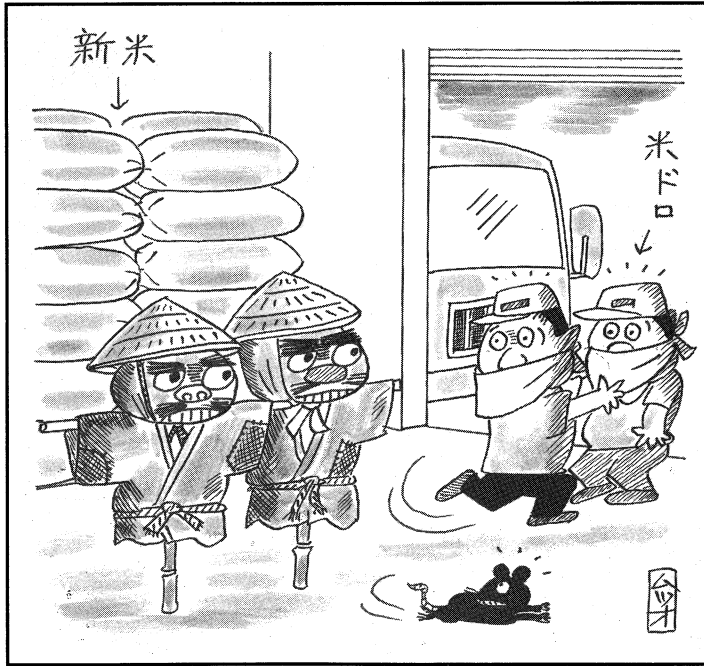
精算返還金百六十七万五千円、一般会計繰入金三百三十八万四千円を増額するものです。

在宅介護サービス事業特別会

計は、十三万六千円を増額し、予算の総額を四億三千九百七十六万八千円とするものです。

水道事業会計は、収益的支出

の営業費用で三百一十一万八千



カカシ移動 羽生 六男

を増額し、資本的収入の企業債一千万円を増額するものです。この結果、当期純損失は一億三百七十四万七千円の見込みとなり、資本的収支の不足額は八千八十万六千円の見込みですが、これらについては、損益勘定留保資金などで補てんされます。

条例改正

新潟県加茂市職員

の退職手当支給に関する条例等の一部改正は、国家公務員の退職手当が引き下げられたことにより、国に準じて退職手当を引き下げるものです。

市道路線

地元の要望により、市道路線の認定をするものです。

教育委員に同意

定例会初日の本会議で、九月三十日に任期満了となる教育委員の土佐弘氏に替わり、井上信二氏(神明町、64歳)の任命を同意しました。

また、同じく九月三十日に任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に、古川良二氏(青海町、71歳)の選任を同意しました。

なお、議会選出の監査委員に高橋禎雄氏を選任することについては、投票の結果、不同意となりました。

定例会日程

- 19日 本会議・全員協議会
- 22日 本会議
- 24日 本会議・連合審査会
- 25日 産業建設常任委員会
- 26日 社会厚生常任委員会
- 29日 総務文教常任委員会
- 30日 水道事業会計決算審査特別委員会

10月2日 本会議



委員会の審査から

各常任委員会に付託された議案及び請願は、9月25日から29日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、議案はすべて原案可決、請願は採択すべきものと決まり最終日の本会議へ報告されました。

産業建設常任委員会

九月二十五日に委員会を開催し、市道路線の認定等の現地視察を行った後、一般会計補正予算など付託された議案四件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、消雪パイプ敷設についての請願は、紹介議員の説明の後、審査を行い、趣旨妥当として全会一致で採択すべきものと決定しました。

社会厚生常任委員会

九月二十六日に委員会を開催し、付託された一般会計補正予算のうち所管の部分など議案四件について、それぞれ説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

総務文教常任委員会

九月二十九日に委員会を開催し、付託された一般会計補正予算のうち所管の部分など議案二件について、それぞれ説明を受

け慎重に審査した結果、新潟県加茂市職員の退職手当支給に関する条例等の一部改正については、を除く一件については、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

なお、新潟県加茂市職員の退職手当支給に関する条例等の一部改正については、質疑、討論がなされ、起立採決の結果、可決すべきものと決定しました。

また、保護者負担の軽減と私学教育充実のため、私学助成の増額・拡充を求める意見書提出に関する請願については、紹介議員の説明の後、審査を行い、趣旨妥当として、全会一致で採択すべきものと決定しました。



産業建設常任委員会の現地視察（9月25日）



産業建設常任委員会の現地視察（9月25日）

水道事業会計決算 審査特別委員会

定例会初日の本会議において設置された特別委員会は、八名の委員で構成され、直ちに佐野委員長、中野副委員長を選出して、九月三十日に委員会を開催し、慎重に審査を行いました。

審査にあたっては、平成十四年度水道事業会計決算書及び関係資料に基づき説明を受け、質疑、討論がなされ、起立採決の結果、認定すべきものと決定しました。

医療問題特別委員会

去る、九月十日及び十月二十日に特別委員会が開催されました。

九月の委員会では、今後の資料収集等について協議があり、第一分科会（担当・地域医療）及び第二分科会（担当・救命救急）と二つの分科会が設置されました。

その中で、各分科会の正副会長を選出し、それぞれ分科員の構成を四人づつとしました。

また、十月の委員会では各分科会に分かれ、収集した県福祉保健年報・県消防防災年報など資料の整理を行いました。

加茂市の将来とその計画について

政友クラブ 高井 保 議員

質問 ① 今年度で第二次加茂市総合計画が終わり、見直しの年となる。市の中長期計画、またはマニフェストなどを市民に提示することが必要と考えるが、その計画はあるか。

② 国も地方も財政状況は厳しい。本市も民間企業感覚の見直しが必要ではないか、来年度の予算編成の考えを聞きたい。

③ 本市の製造品出荷額はピーク時の半分近くまで落ち込んでいる。事業所数も減っている。商工業への支援策を聞きたい。

市政の内容を聞く

一般質問

九月定例会では初日

から十人の議員が

一般質問を行い市政

全般について所見や

執行状況を聞いた

しました。その要点

をお知らせします。



9月定例会本会議

加茂市のマニフェスト(政策綱領)について

公明党 佐野正三良 議員

とができるが、右肩下がりの時代につくることは難しい。現在の福祉を初めとする高い市政の水準を維持し守り抜くことに力点を置き、単年度主義で少し前を見ながらやっていくのが良いと思っている。

② 来年度の予算編成については、小泉内閣の緊縮財政政策が続き普通交付税の中の地方が自

質問 ① 市長公約のマニフェスト(政策綱領)が必要だ。特別養護老人ホーム第三平成園、加茂西小学校の建設などマニフェストを提示してほしい。

② 市単独のIT講習会を開催できないか。また、学校インターネット事業の今後の維持管理は

由に使える金、すなわち投資的経費の事業費補正以外の部分や特別交付税が引き続き削減されれば、本年度以上に厳しい状況が予想される。

③ 今後とも関係者と協議をしながら対応したい。いずれにしても景気対策最重点の政策をとる内閣が出現する以外に産業の発展はないと思っている。

どうするのか。

③ 冒険体験学習プログラムを通称プロジェクトアドベンチャー(PA)というが、学校教育や社会教育などの分野で役立てることはできないか。

答弁 ① 現在の国の情勢のもとでは、マニフェストの提示などできない。こうゆう時代には、市政の水準を守り抜くことに力点を置き、単年度主義で少し前

加茂市の財政は厳しくなったのではない

政友クラブ 関 龍雄 議員

を見ながら行っていくことが一番いいと思っている。

② IT講習会は、厳しい財政状況下において、市で運営費用を出すことはむずかしい。国が補助金を出すことになったら実施したい。国の教育研究開発事業の学校インターネット事業は十五年間で終わる見込みで、貸与を受けている機器類は引き続き無償貸与が継続される見込みであるが、NTTの光ファイバーは無償で利用できていたものが有料になる予定である。そうすると大変な支出となるため、検討した結果、ADSLという光ファイバーには及ばないが、支障がほとんどないため、ADSLを使って運用していきたい。

③ アメリカン・スタンダードの度が過ぎる時代に、冒険体験学習プログラムを、市として今すぐ動くのは早計のような気がする。

② 市税については団塊の世代の人達が定年を迎えることにより、個人市民税は減少し、また土地価格の下落を反映して固定資産税もマイナスの傾向となる。市民の財産である積立金の減少も気になることである。

③ 一方、支出については、市

詳しくは会議録で

九月定例会の会議録は、十一月下旬に発行予定です。議会図書室、図書館、勤労青少年ホーム、老人福祉センター、各コミュニティセンター、新潟経営大学図書館でごらんください。

職員の定年による退職金の増加などで、加茂市の財政は大変なことになると思われるが、どのように対処するのか。

④ 決算状況書を九月定例会に提出できないか。

答弁 ① 現在は経費の執行において、未曾有の節約をして様子を見てるところである。下水道事業は予算十一億のところ六億円に抑える。このまま小泉内閣が続くと貯金を食いつぶしていかなければならない。

② 市税全体における税収については、市民税では個人所得の減少と固定資産税では地価の下落等により減収するものと考えている。

③ 職員の退職金については、平成十九年度から平成二十二年度においては合計六十名の見込みであり、今任期中の約倍増となる。いま、退職金も起債対象とすべきことを提案している。

④ 決算の提出時期については今まで通りとさせてもらいたい。

西小建設に向けて基金の積み立てを

無所属 田沢弘一 議員

質問 ① 学校週五日制が導入され同時に新学習指導要領が導入されたが、学力の比較数値等はあるか。また、学校行事などに学校教育ポランティアを活用する考えはないか。また、西小建設実現のため基金を毎年積み立てることを提案する。また、二〇〇九年新潟国体を控え、ジュニア選手の強化策を聞きたい。

② 完全失業率は五・三％となっているが、市の雇用情勢はどのような状況か。

③ 市内における用水路等の安全対策について聞きたい。

答弁 ① 学習内容の三割が削減されたなかで、実施前と後の学力検査実施校の偏差値の平均というものが、何れも偏差値は上昇している。しかしよくその内容を調べてみる必要があると思っている。

次に学校ボランティアについては、無造作に一般の先生のかわりのようなことをさせてはならないと思っている。小泉内閣による超緊縮財政政策と地方切り捨て政策による三年間の暗黒時代が来るとき、西小建設基金へ積み立てられるほど裕福ではない。また、国体強化策として

ピットのある体操練習体育館は万難を排して造らなければならぬと思っている。

② 七月末現在のハローワーク

合併協議会設立準備会に加茂市もオブザーバー参加を

市政クラブ 森山一理 議員

質問 ① 三条、田上、栄、下田の四市町村による合併協議会設立準備会が九月一日より発足し、四市町村の合併に向けた新都市将来策定作業が開始された。そこで提案であるが、この中央三条、田上、栄、下田合併協議会設立準備会に、加茂市の議員と職員がオブザーバー出席する必要があると思われるが市長の考えを聞きたい。

② 市の物品購入や工事等の発注に電子入札を導入し、零細企業や入札参加資格のない者でもパソコン上で入札に参加出来る体制の早期実現を望む。

答弁 ① 合併したら最後加茂市地域は壊滅し、加茂村になってしまう。民主主義も破壊されてしまう。

② 市の物品購入や工事等の発注に電子入札を導入し、零細企業や入札参加資格のない者でもパソコン上で入札に参加出来る体制の早期実現を望む。

加茂市農業の特色を生かしたビジョンを

政友クラブ 中野元栄 議員

質問 ① 日本は輸入米に実質四九〇％の関税をかけている。これが米国の主張する二〇〇％に引き下げられた場合、短粒種の精米輸入価格は一キロ三百円程度となり、価格競争で苦境に立たされ、兼業農家主体の日本農業は壊滅状態になる。

② 現在、加茂市に毎年きている地方交付税四十七億円は、県央六市町村が合併すると、旧加茂市地域にくる交付税の分け前は三十億円も減って、十七億円になるものと考えられる。私は四市町村の合併協議会設立準備会に、オブザーバーなど出して、加茂市まで集団自殺に加わることは到底いたしかねる。四市町村の合併はこの地域の住民を極めて不幸にし、特に田上町と下田村が壊滅的打撃を受けることを心配している。

③ 危険がないよう対処したい。

答弁 ① 合併したら最後加茂市地域は壊滅し、加茂村になってしまう。民主主義も破壊されてしまう。

② 現在のように市で入札するシステムに比べ、インターネットで入札するシステムがなぜ優れているのか、私には理解できない。現在、加茂市では公平に指名し、公正な入札が行われている。

加茂市の魅力的な里山の有効活用について

市政クラブ 広野豊作 議員

質問 ① 近年の車社会で、郊外大型店のワンストップショッピングが普及し、既存の商店街は四苦八苦している。そこで、消費の流入策、人口増加策の観点から市街地の里山の活用について提案したい。加茂市には粟ヶ岳、加茂山、猿毛山など魅力的な里山が多い。また、スローライフが尊重される時代に入っ

た今、「狭口」かいわいの素朴な風景も見直されてよいところである。狭口一帯を「いきかえりの里」と命名し、ハイキングコースを延長し、伝説や民話などロマン性を現代に生かす試みなど創意工夫をして、自然環境を媒体として経済活動に結び付けたいと考えている。市長の見解を聞きたい。

答弁 ① 小京都加茂市全体が

取り組みについて聞きたい。

④ バブル時代に集落のすぐ近くまで見ず知らぬ者に買取されたまま管理のされていない山林が見受けられる。災害対策の面からも危険箇所点検等が必要だ。

② 市においては、災害危険箇所点検の実施と雪害対策会議を行い進展していると考えている。消防団員には安全を第一に通常に指導している。

③ 小中学校の耐震対策は、小泉内閣のもとでは不可能である。

④ 実態の把握に努めたい。

た今、「狭口」かいわいの素朴な風景も見直されてよいところである。狭口一帯を「いきかえりの里」と命名し、ハイキングコースを延長し、伝説や民話などロマン性を現代に生かす試みなど創意工夫をして、自然環境を媒体として経済活動に結び付けたいと考えている。市長の見解を聞きたい。

答弁 ① 小京都加茂市全体が

加茂市を日本で最も子育てしやすい街に

政友クラブ 安武秀敏 議員

質問 ① 厚生労働省は「日本で最も子育てしやすい町」のモデル事業を二〇〇四年度に実施すると発表した。対象は全国をリードする自治体を育成することが目的で五十市町村程度を検討している。加茂市も応募したらどうか。

② 全国で高齢者の孤独死が急増している。加茂市の独り暮らしの高齢者は何人か。また、夜間のホームヘルプサービスも実施したらどうか。また、ケアハウスの建設について市長の考えはどうか。

③ 市で墓地を造成し分譲してほしいとの要望があるが、市長の考えを聞きたい。

答弁 ① 指摘のモデル事業は「子育て支援総合推進モデル事業」のことと思われるが、詳細はまだはっきりと決まっていない段階であり、また、自治体の財源負担が必要になる。これらの三年間の小泉暗黒時代においては手が出せないのではないかと思っている。

② 加茂市の独り暮らし高齢者数は、平成十五年四月一日現在の調査では五百三十二人である。土・日のホームヘルプサービス

は平成八年から既に実施し、早朝夜間は、今年度から朝七時から夜八時をめぐりにサービス時間の拡大を図っている。

ケアハウスの建設は、第三

市の不況実態と今後の産業対策について

日本共産党 大桃一明 議員

質問 ① 長期の不況と小泉政権の構造改革による二重三重の苦難のなかで、産業倒産と労働者の雇用の悪化などが続いている。このようななか加茂市の不況実態はどのようなようになっているか、具体的に聞きたい。あわせて今後市としてどのような産業対策を考えているかを問う。

② 平成十二年九月議会会で下水道整備計画について質問をした。その時、市の方針は幹線工事を優先して進めるとし、詳細な工事計画は先までは決められないが、極力早く地域の方々に公表すると答弁している。その後三年が経過した。市は下水道事業計画の方針を明確にして市民に協力をお願いすべきと考えるが

成園の建設を優先する必要がある。

③ 市営墓地の造成については、今後も需要等をみながら慎重に対応したい。

質問 ① 市長の考え方を改めて問う。

答弁 ① 本市の不況実態については、平成十四年工業統計調査速報があるが、ピーク時の平成三年との比較では、製造品出荷額等で四三・三％減、事業所数で四二・〇％減、従業者数で四四・〇％減少している。

対策としては、業界、組合、商店街からの意見要望を受け、市では最大限の努力をしてきた。今後も関係者と協議しながら対応したい。

② これから下水道の事業費も大幅に絞り込まなければならず、下水道事業の計画は細切れるにその都度決めざるを得ない。そんなに先までは決められないが、決まり次第関係者に説明したい。

市政に取り組み理念・信念と当面の問題点について

市政クラブ 安中 弘 議員

質問 ① 県内において十八地区九十六市町村が何らかの形で合併協議がされている。市民の中には不安が高まっているのではないか。そこで、合併しない

加茂市の行財政、商工農業、町づくり等について今後の姿を明確にする必要があると考える。

② 田上町が県央地区と合併した場合に想定される諸問題は何

か、その対策について伺う。

③ 地場産業の再生、活性化策については、守る姿勢から一歩前進して行動する積極策に転換してもらいたいと思うか。

④ 情報公開条例が未だ制定されていないが、民主市政を標榜することと矛盾していないか。

⑤ 市政の進展に向かって市長行政当局、市議会との正しい関係とあり方について考えを伺う。

てしまいが合併しなければ加茂市は安泰でなにも起こらない。

② 田上町が県央と合併しても広域事務組合は今までと変わりなく、新しい市と同じ関係を結ぶことになる。

③ あらゆる事態において、積極果敢にやってきた。さらにやるべき提言があれば実行したい。

④ 情報公開条例は、市民と市長のよもやま話の日が円滑に機能することが確実に担保される。ところまで検討が達しておらず、制定に至っていない。

⑤ おおむね立派なあり方であり、いい関係だと思っている。

12月例会 定例

傍聴してみませんか

加茂市を明るく住みよいまちにしていくため、議会の活動状況を知り、市政の内容を理解することは、大切なことです。

市議会は、誰でも傍聴できます。

一般質問も行われます。

このほか、必要により特定の案件を審議する臨時会が開かれます。

次の定例会は、十二月ですが、傍聴されるときは、受付簿に氏名などを記入していただくだけで入場できますので、お気軽に傍聴にお出かけください。

皆さんが選んだ議員が皆さんの声を市政に反映する場が議会であり、市民にもっと身近な審議機関です。

市議会は、毎年三月、六月、九月、十二月に定例会が開かれ、定例会では、市政全般について

傍聴席は、一般席40、車いす席4、記者席8の合計52席となっています。

私学助成の増額請願を採択

九月定例会市議会で受理した請願は二件で、審議の結果、趣旨妥当として採択しました。

世田がん 2件

▽採択したもの
・消雪パイプ敷設についての請願（神明町区長）

市道神明6号線延長約五十四分に消雪パイプを敷設していただきたい。

本箇所は住宅密集地の神明一号線から市道新道線に通ずる生活道路である。

冬場における雪処理問題では、付近の井戸から水量を分けてもらい、冬期間における生活不安を解消してもらいたい。

☆意見書提出を求める請願
・保護者負担の軽減と私学教育充実のため、私学助成の増額・拡充を求める意見書提出に関する請願（加茂暁星高等学校PTA会長）

意見書2件を提出

定例会最終日の本会議において、議員提出による意見書二件を可決し、関係機関へ提出しま

した。

◎学費への補助制度の拡充など私学助成の増額を求める意見書

私立高校の初年度納入金は公立高校の五・六倍で、保護者の学費負担は限界の状況である。

今日の不況は家計を直撃し、学費の長期滞納や退学など、深刻な事態を引き起こしている。

私学助成は、私立学校の教育条件の維持・向上、保護者負担の軽減を目的にした、私立学校振興助成法の趣旨に基づき増額されてきた。

政府においては、教育条件の向上・改善、保護者負担の軽減及び私学経営の健全化をめざした現行の私学助成制度を尊重しつつ、以下のことを要望する。

一、教育条件の公私格差を是正するため、私学助成の国庫負担制度を維持し、私学助成の増額・拡充をはかること。

二、保護者負担の軽減をはかるため、授業料助成制度を新設すること。

記

三、不況から生徒を守るため、授業料減免事業臨時特別経費を拡充すること。

◎学費への補助制度の拡充など私学助成の増額を求める意見書

新潟県の私立高校の学費負担は大きく、公立との格差は四倍に達している。

長引く不況により、学費の長期滞納や退学など深刻な事態が起きている。

県では学費補助制度が実施されているが、保護者負担の軽減にはほど遠い状況である。

県においては、私立高校の教育条件の向上、父母負担の軽減などをめざしてきた現行の私学

助成制度を尊重しつつ、特に以下のことを要望する。

記

一、父母負担の軽減をはかるため、授業料補助及び入学金補助の対象者を大幅に増やすこと。

二、不況等による家計急変家庭及び経済的困難な家庭に対する補助をいっそう充実し、学費負担の大幅な軽減を行うこと。

三、教育条件の公私格差を是正するため、経常費助成の増額・拡充を行うこと。

議会に配付した陳情

・農家が意欲をもって稲作に取り組むことのできる米政策の実現を求める陳情（農民運動新潟県連合会代表者）



請願・陳情を提出されたい方へ

市民の皆さんは、市の仕事に対して意見や要望を市政に反映させるため、いつでも請願や陳情を市議会議長あてに提出することができます。ただし、議会日程との関係から、定例会7日前に開かれる議会運営委員会の前日（土・日に当たるときは金曜日）午後5時までに受け付けたものを、その定例会で請願は審議し、陳情については参考配布することとしています。なお、請願を提出する場合は、紹介議員が必要（3名以内）ですが、陳情の場合は、必要ありません。

※例 (表紙)

〇〇〇に関する請願
紹介議員 ○○○○㊦
○○○○㊦
○○○○㊦

(本文)

〇〇〇に関する請願
1. 要旨
.....
2. 理由
.....
平成 年 月 日
住所
氏名
加茂市議会議長 様

9月定例会 議決状況一覧表

議員提出議案		
議案番号	件名	議決状況
10	学費への補助制度の拡充など私学助成の増額を求める意見書(国)	原案可決
11	学費への補助制度の拡充など私学助成の増額を求める意見書(県)	〃
市長提出議案		
52	専決処分(市営市民バス条例の一部改正)	承認
53	15年度一般会計補正予算(第6号)	原案可決
54	15年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	〃
55	15年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)	〃
56	15年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	〃
57	15年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	〃
58	15年度水道事業会計補正予算(第1号)	〃
59	14年度水道事業会計決算の認定について	認定
60	市職員の退職手当支給に関する条例等の一部改正について	原案可決
61	市道路線の認定について	〃
62	教育委員会委員の任命について	同意
63	監査委員の選任について	不同意
64	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意

連合審査会

九月二十四日に連合審査会を開催し、各常任委員会に付託された議案九件について、総括質疑を行いました。

全員協議会

定例会初日の十九日に全員協議会が開かれ、専決処分の承認

について説明を受け、質疑を行いました。

十月二十二日に月例全員協議会を開催し、総務文教常任委員会の行政視察結果報告、事務に関する説明書の質疑などを行いました。

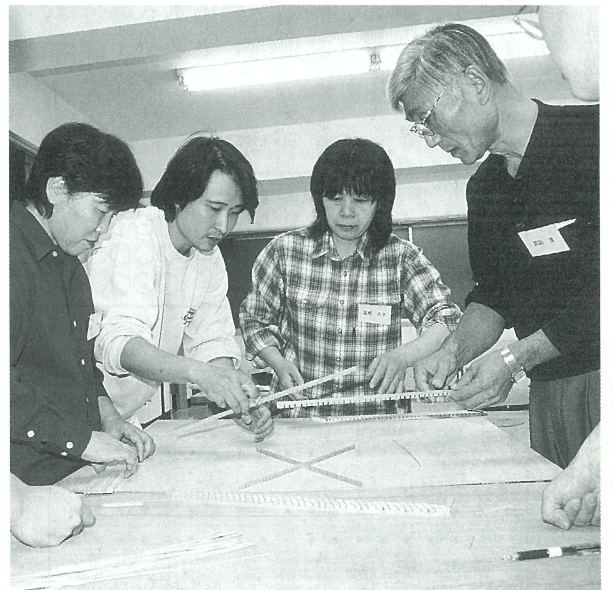


議会日誌

- 18日 中越八市議員研修会(小千谷市)
- 21日 特別豪雪地帯市町村議会協議会中央要望(東京都)
- 22日 県市議会議長会(両津市)
- 〈9月〉
- 10日 医療問題特別委員会
- 12日 議会運営委員会
- 19日 定例市議会
- 10月
- 1日 定例市議会
- 15日 総務文教常任委員会
- 17日 行政視察(山田市・武雄市)
- 20日 医療問題特別委員会

行政視察来市状況

- 8月6日 岐阜県羽島市
- 20日 東京都墨田区
- 25日 栃木県野木町
- 9月4日 北海道稚内市
- 7日 長野県須坂市
- 15日 沖縄県石垣市
- 16日 岐阜県美濃市
- 21日 千葉県銚子市
- 23日 秋田県秋田市
- 28日 福岡県大川市
- 30日 新潟県新発田市
- 22日 月例全員協議会
- 28日 社会厚生常任委員会
- 行政視察(高梁市・田辺市)



伝統の技・教室「建具組子」(10月17日・公民館)